

令和4年10月28日

各 位

「株式会社脱炭素化支援機構」への出資について

トモニホールディングスグループ（以下「当社グループ」という。）の徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）は、脱炭素社会の実現に向けて創立された「株式会社脱炭素化支援機構」（以下「脱炭素機構」という。）に出資しましたので、お知らせいたします。

脱炭素機構は、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて巨額の投資が必要となる中、国と民間からの出資金を基に、脱炭素に資する事業に対して資金供給を行い、新たなビジネスモデルの構築を通じて、数兆円規模の脱炭素投資の誘発に貢献することを目指します。

当社グループは、脱炭素社会の実現に向け、多種多様な民間企業や民間金融機関等が参加して脱炭素ビジネスの拡大に貢献する脱炭素機構の取組に賛同するとともに、その取組が地域経済の活性化に資するものであると判断し、当該出資を決定しました。

当社グループは、今後も地域のお客さまとともに成長し続けるため、SDGsの目標達成や、地域経済の活性化に積極的に取り組んでまいります。

記

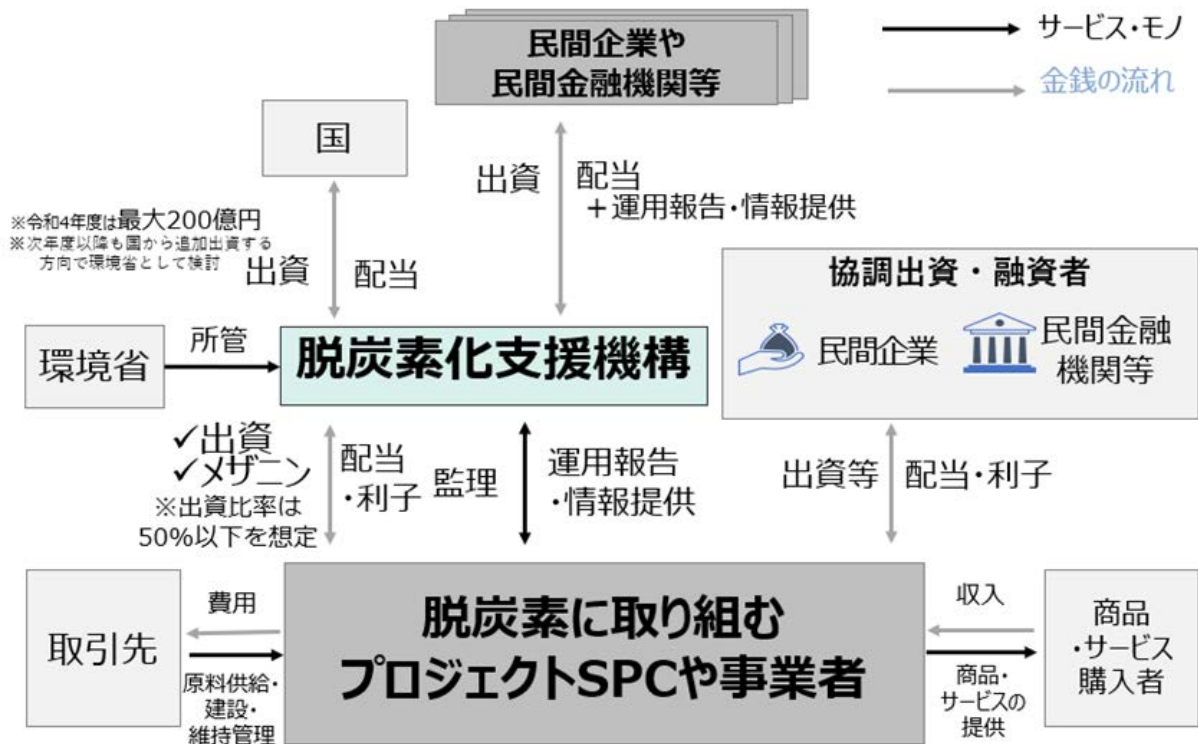
1. ファンドの概要

名 称	株式会社脱炭素化支援機構
所 在 地	東京都港区虎ノ門1丁目1-12 虎ノ門ビル9階
創 立 日	2022年10月28日
資 本 金	204億円（設立時）
事 業 目 的	脱炭素化支援機構は、国の財政投融資（産業投資）と民間からの出資を資本金としてファンド事業を行う株式会社で、資本金を基に、脱炭素に資する事業に対してエクイティ ^(注1) 、メザニン ^(注2) 等のリスクマネー供給を行い、巨額の民間ESG資金を脱炭素投資に振り向ける呼び水となることを目指します。
投 資 手 法	優先株・劣後ローン・劣後債等のメザニンファイナンス、債務保証、出資等
投 資 対 象	脱炭素社会の実現に貢献する幅広い事業 (例：資源循環、森林保全、非FITの太陽光発電、CO ₂ 回収等)

(注1) エクイティとは、配当や残余財産の分配を受けるべき権利がその他の資金拠出（融資等）より、最も劣後する形で資金（出資金）を提供することで、その出資先の組織形態により、株式、社員持分、あるいは、匿名組合出資、劣後信託受益権等が考えられます。

(注2) メザニンとは、出資（エクイティ）と融資（デッド、例えばシニアローン・普通債券）の中間的性質をもつミドルリスク・ミドルリターン金融手法です。融資と比べると返済順位が低い代わりにリターン（金利・利率・配当率）が高い一方、出資（エクイティ）と比べると優先的に返済・支払・分配・配当が受けられる代わりにリターンが低いといった設定をします。

2. スキーム図



(ご参考) 当社グループのSDGsへの取組方針及び取組状況については、ホームページで公開しております。

<https://www.tomony-hd.co.jp/sustainability/st-sdgs.html>



以上

【本件に関するお問合せ先】

トモニホールディングス株式会社	経営企画部	TEL : 087-812-0102
株式会社徳島大正銀行	企画部	TEL : 088-656-1118
株式会社香川銀行	総合企画部	TEL : 087-812-5132